



SilkyPath (シルキープス)

～ シンプルな診療予約システムで満足ですか？ ～



高度な予約枠管理

デモ依頼・お見積・お問合せは、
下記までご連絡ください



080-3646-3944



support@silky-path.com

スパイラルウェア株式会社

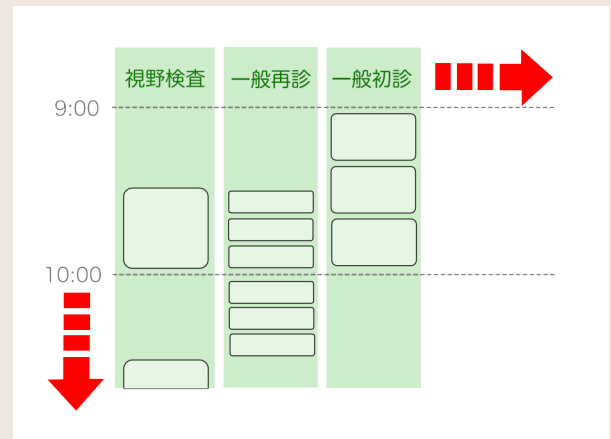
担当：外崎（とのさき）

作成できる予約枠の種類・枠数は上限なし

複数の医師が幅広い治療メニューを提供している
中規模クリニックでは、予約システムで管理すべき
予約枠の種類・枠数が多いため、予約表が巨大化
する傾向にあります。

SilkyPathは、予約枠の種類・枠数を上限なく増やせ
ますので、クリニックが提供している治療メニュー
の全てを一元管理できます。

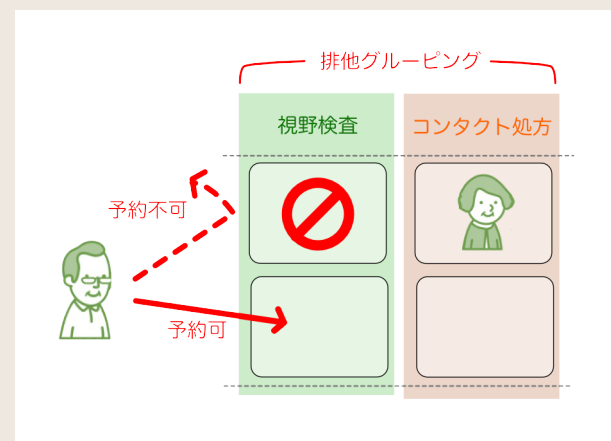
1日あたり50種類・300枠以上の複雑な予約枠を運用
している実績があります。



OR予約枠（排他予約枠）

スタッフの勤務シフト、検査機器の台数、タスクの
所要時間などのリソース制約により、種類の異なる
予約が同じ時間帯に重なると都合の悪い場合があり
ます。

SilkyPathのOR予約枠を使用すると、
排他グルーピングされた予約枠のどれかが予約取り
されたタイミングで、同じ時間帯の残りの予約枠を
自動的にブロックします。

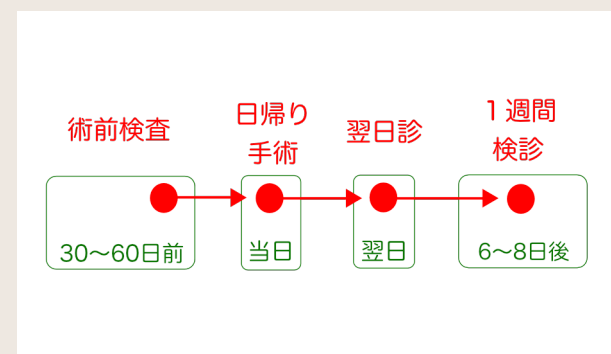


連鎖予約（オペ日程取り）

SilkyPathは、術前・当日・術後のタイミングが
揃っている候補日のセットを、大量の予約枠の中
から自動的に抽出できます。

スタッフに必要な操作は、自動抽出されたリストの
中から、患者様の都合とマッチするものを選択する
だけです。

オペ日程表印刷機能を使えば、予約取りした内容を
印刷して、そのまま患者様へお渡しできます。



PDCAサイクルによる予約枠のブラッシュアップ

予約枠は、一度決めたら終わりではありません。枠の埋まり具合、患者様の平均待ち時間、スタッフの残業時間などの実績を振り返って、定期的にブラッシュアップする必要があります。

一般的な受付システムが在院時間（受付～会計までの長さ）しか記録していないのと対照的に、SilkyPathは、受付・検査・診察などの各セッションが対応した時間を個別に記録します。

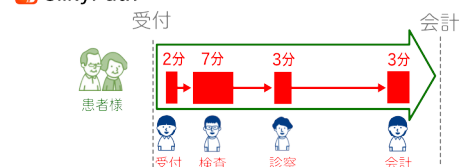
精密で定量的な記録の分析により、ボトルネックになっているセッションや、患者様の待ち時間削減の為に改善すべきポイントなどを容易に発見することができます。

この気づきを活かして、予約枠や勤務シフトなどの業務計画をより効果的に立案できます。

一般的な予約・受付システム



SilkyPath



治療メニュー別に カスタマイズ可能なリマインド

大半の予約システムが、予約前日に患者様へ来院日時をメール送信するリマインド機能を備えています。

SilkyPathは、予約の種類（治療メニュー）別に、リマインドメッセージの内容と送信タイミングをカスタマイズできます。

例えば、来院の3日前から患者様の事前準備が必要な治療の場合、3日前に準備内容をお伝えするメールを送り、来院前日に来院時間をお伝えするメールを送ると、きめ細かいリマインドが実現できます。

Eメールの他にSMSにも対応していますので、幅広い年齢層の患者様にご利用いただけます。

キャンセル待ち

人気の治療メニューは予約枠がすぐ埋まってしまうため、多くの患者様が希望する日付で予約できない不満を抱えています。

この不満の軽減策として、SilkyPathはキャンセル待ち機能を提供しています。キャンセル待ちにエントリーした患者様は、キャンセル発生により予約枠が空いたことを、メール通知でリアルタイムに知ることができます。

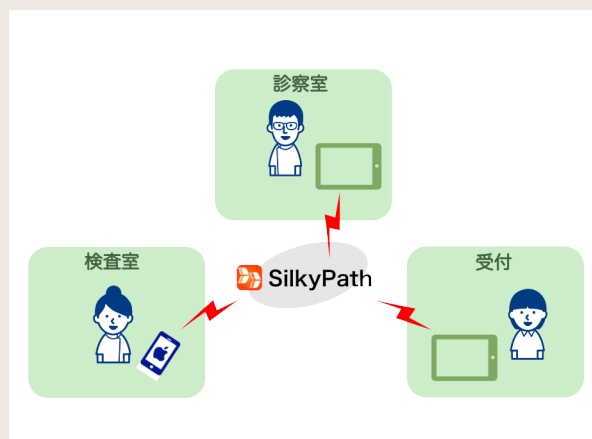
この仕組みにより、患者様の不満を軽減しつつ、キャンセルによるクリニックの機会損失を予防できます。

スマホの手軽さで

パソコン操作が前提の従来システムとは異なり、SilkyPathは、iPad・iPhoneから操作します。

パソコンよりも省スペースで安価なので、必要十分な数の端末を設置できます。

患者様の呼び出し、次の担当セクションへの回覧や申し送りなどの為に、持ち場を離れる必要はありません。これらの作業は、手元のiPad・iPhoneからその場で完遂できるため、移動のロスなく効率的に診療を進められます。



診療プロセス全体をセルフ化

Web予約

特殊な検査や医師指定のある予約リクエストなども、スタッフが電話対応することなくWeb完結で予約取りできます。

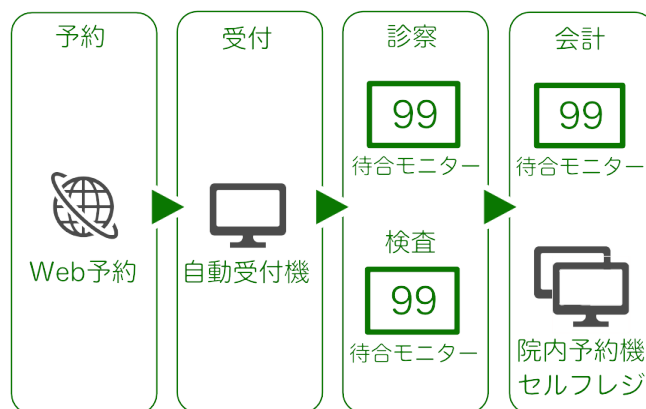
自動受付機

自費・保険どちらの予約にも対応しており、治療メニュー毎に、自動受付機と窓口対応の振り分けを設定できます。

保険診療の場合は、オンライン資格確認とシステム連携して保険証の有効性を確認します。

待合モニター

診察室のみならず、検査室や会計窓口など、複数の場所に設置できます。



院内予約機

診察後の会計待ちの間に、患者様本人の操作のみで次回の予約取りができます。

セルフレジ

会計の一般的なやりとりである「院内処方薬の確認」→「次回予約」→「精算」の3ステップを、患者様本人の操作のみで進められます。

自費・保険のどちらの精算にも対応しており、保険診療の精算と院内処方薬の確認は、ORCAとシステム連携しています。